



料金後納
郵便

BANDO Breakthroughs for the future

株主の皆様へ バンドー化学株式会社

平成28年3月期 第1四半期（連結）

株主名簿管理人 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
事務取扱場所 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
☎0120-094-777（通話料無料）

返送先 〒540-8694 大阪東郵便局私書箱第455号
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

まずこちらを

開く 滞れている場合は乾かしてから
はがしてください

■ 配当状況

	1株当たり配当金（円）					配当金総額 （年間）	配当性向 （連結）	純資産 配当率 （連結）
	第1 四半期末	中間期末	第3 四半期末	期末	年間	（百万円）	（％）	（％）
2016年3月	－	6.00 （予想）	－	6.00 （予想）	12.00 （予想）			
2015年3月	－	5.00	－	5.00	10.00	941	25.0	1.8
2014年3月	－	5.00	－	5.00	10.00	941	22.0	2.1

■ 会社概要

社 名 バンドー化学株式会社
Bando Chemical Industries, Ltd.
創 業 1906年（明治39年）4月14日
設 立 1937年（昭和12年）1月7日
本 社 事 業 所 神戸市中央区港島南町4丁目6番6号
TEL (078) 304-2923
ホームページアドレス <http://www.bando.co.jp>

■ 事業所

本店（本社事業所）・R&Dセンター（神戸市）
東京支店、名古屋支店
足利工場、和歌山工場・運動技術研究所
南海工場（大阪府泉南市）、加古川工場



<http://www.bando.co.jp>

■ 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
TEL（通話料無料）0120-094-777
公 告 掲 載 新 聞 日本経済新聞・神戸新聞
上 場 取 引 所 東京（第1部）

〈ご注意〉

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱ＵＦＪ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱ＵＦＪ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱ＵＦＪ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱ＵＦＪ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本データの記載内容は、平成28年3月期第1四半期決算短信に基づき作成しております。なお、その後に公表される可能性のある訂正情報や業績予想の修正情報については、本データの記載内容には反映されません。

バンドーグループは
環境にやさしい事業を
推進しています



株主の皆様へ

2015年8月
バンドー化学株式会社

平成28年3月期第1四半期（連結）の概況をお届けいたします。

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国においては好調な個人消費を背景に景気が堅調に推移し、欧州においてはギリシャ債務問題を抱えつつも緩やかな回復が続きました。一方、中国やアセアン地域においては景気拡大テンポの減速感が強まりました。また、日本経済においては、企業収益や所得の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、主要な市場である自動車分野において、米国では自動車生産台数が底堅く推移したものの、これまで好調を維持していた中国は景気減速の影響もあり、生産台数は減少いたしました。また、日本では軽自動車税の引き上げ前の駆け込み需要の反動などによる生産台数の減少に加え、ベルト非装着車種が増加するなど厳しい状況で推移いたしました。一方、産業機械分野においては、設備投資が堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、2013年度から2022年度までの中長期経営計画“Breakthroughs for the future”（未来への躍進）の第1ステージの3年目として、グレートメコン市場の開拓、中国やタイの技術センターの強化による市場最適仕様製品の開発およびベルト製品の生産ライン刷新と製法革新に着手するなど、中長期経営計画の達成に向けて、鋭意取り組んでまいりました。また、伸縮性ひずみセンサ「C-STRETCH®（シーストレッチ）」を開発し、その性能をお試しいただける研究開発キットの販売を開始するなど新製品・新事業の開発にも注力いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は241億6千5百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は12億9千3百万円（前年同期比30.6%増）、経常利益は17億1千5百万円（前年同期比49.2%増）、四半期純利益は11億9千9百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

また、平成28年3月期の業績予想（通期）および配当金につきましては、本年5月15日公表の予想値を据置いております。

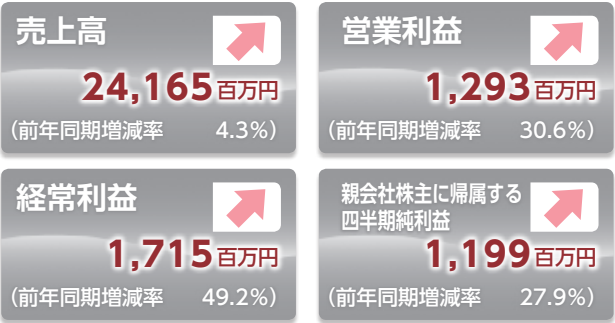
株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



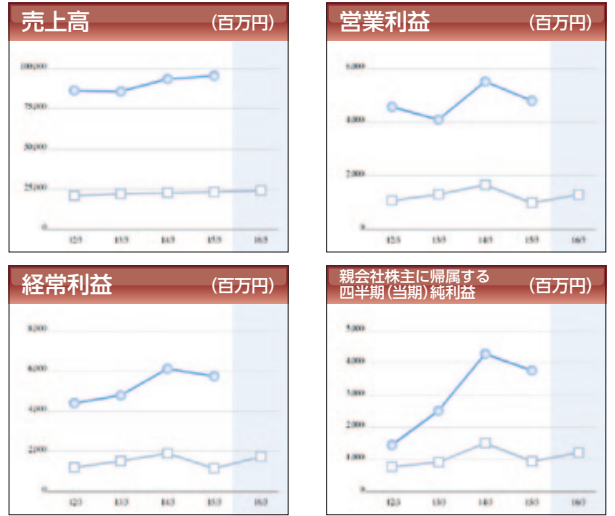
代表取締役社長
吉井満隆

平成28年3月期第1四半期（連結）の概況
（詳細につきましては、当社ホームページ「IR情報」掲載の「平成28年3月期第1四半期決算短信」をご覧ください。）

■ 経営成績

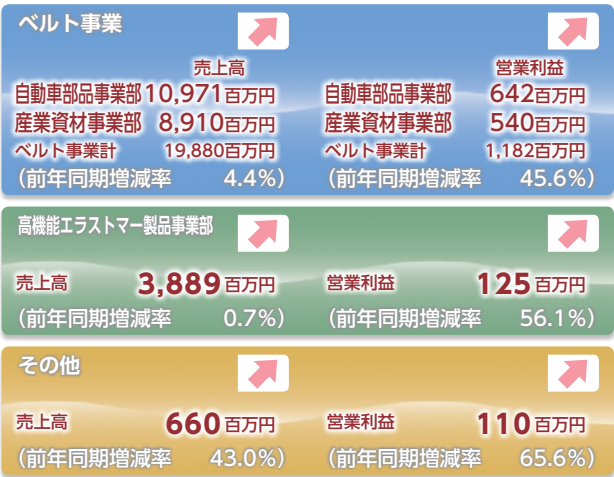


● 通期 □ 第1四半期



■ 事業のセグメント別売上高及び営業利益の状況

当期から、報告セグメントを「自動車部品事業部」、「産業資材事業部」、「高機能エラストマー製品事業部」に再編しております。なお、前年同期比較についてはセグメント変更前の数値と比較しております。



■ 平成28年3月期（通期）の連結業績予想

	中 間 期	通 期
売 上 高	50,000百万円 (6.6%)	100,000百万円 (4.8%)
営 業 利 益	2,900百万円 (39.9%)	5,800百万円 (20.9%)
経 常 利 益	3,500百万円 (36.9%)	6,800百万円 (18.7%)
親 会 社 株 主 に 帰 属 する 当 期 純 利 益	2,200百万円 (14.4%)	4,500百万円 (19.7%)
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	23円39銭	47円85銭

業績予想は、平成27年5月15日公表時から変更しておりません。なお、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。